# 飛翔

発行責任者
平塚ＭＡＣ
池田忠宏

アヒルの会

## コロナ禍の中のゴルフ

# 全員が何事もなく プレーを終えて帰宅する

今年の三月と五月に予定していたアヒルの会は、世の中のコロナ感染者の急増に伴ない中止しました。予定していたゴルフ場は遠方にあるため、バスでの送迎を利用していたので、バスの中での密も考えて二回とも中止しました。

### 松田町のチェックメイトで開催

今回はできるだけリスクを避けることを考慮して、近距離にある松田町のチェックメイトでの開催を決定しました。

十月三十日天候を懸念していたけれど幸いに曇りときどき晴れ間がのぞく気持ちの良い朝となりました。

### 悲鳴をあげながら痛い痛いとスタートする

十三名の参加者、四組での組み合わせです。前日に怪我をして参加が危ぶまれた二名、首が回らずドタキャンを考えた一名と、三人とも痛い痛いと朝から悲鳴をあげながらのスタートとなりました。

幹事としては今日一日全員が何事もなく、無事にプレーを終えて帰宅されることを祈る思いでした。

### ゴルフシューズの底を紐で縛ってプレーする

余談ですが初参加でコースは二回目の大島さん、途中でゴルフシューズの底が剥がれて、紐で縛ってプレーをしました。

前半のハーフで既に一万歩近くも歩くほどの苦労があったり、さぞお疲れだったと思います。

### ソーシャルディスタンスを取って表彰式

結果は幹事の目から見て、やはりゴルフに本当に熱心なメンバーが上位を占めていました。

ソーシャルディスタンスを取ったレストランでの表彰式を行ない、全て無事に終えたことを皆さんに感謝です。

次回は来年三月二十六日です。今回参加ができなかったメンバーを含めて、多くの方の参加を切に希望します。

アヒルの会
宮武祥次郎　記

## ひろば

### 横道に逸れながら楽しみを見つける

私はいろいろなものに興味があります。上達もせず長々と続けるだけです。その内、横道に逸れてしまいます。その一つに習字があります。

厚木に移った頃、声をかけていただいた方のグループに入り八年、やはり上達しません、が寄り道はします。

ある時、手本に数種の歌が示され練習することになりました。残り物には福があると最後の歌にしました。

### 面白い猿丸大夫の本名は何？

猿丸大夫の「奥山に紅葉ふみわけ鳴く鹿の　声聞く時ぞ　秋は悲しき」でした。秋の情景が浮かぶ私にも判るものです。

早速、横道に逸れてしまいます。作者の名が面白く本名は何？と調べました。三十六歌仙の一人で上手なはずです。しかし本名は判らないとありました。作家の井沢元彦さんは「猿丸幻視行」という小説で第六回乱歩賞を受賞しています。その中で柿本人麻呂ではないかと言っています。

また、柿本人麻呂の周辺では事件もあり、古事記にも関係しているようでした。いわゆる古代史に類するもので、聖武、天武、持統天皇の血なま臭い闘争にも関係するようにも書かれていました。

このように横道に逸れながら楽しみを見つけ、残りの人生を過ごしたいと考えています。

この会での新しい出会いが又、別の寄り道を指し示してくれるものと思っています。

宮田泰直　記

### 次号の発行日

次号の発行日は十二月十七日㈭です。

### 当面のスケジュール

| | | |
|---|---|---|
| １月 | ８日（金） | 囲碁を楽しむ会 |
| １月 | １４日（木） | パソコン勉強会 |
| | 〃 | 囲碁を楽しむ会 |
| | １８日（月） | パークゴルフの会 |
| | ２２日（金） | 囲碁を楽しむ会 |
| １１月 | ２５日（月） | パークゴルフの会 |
| １１月 | ２６日（木） | パソコン勉強会 |
| | 〃 | 囲碁を楽しむ会 |